

新たな中学校が 開校します!



令和7年4月 No.23

いよいよ富士川中学校が 開校します!

これまで、児童生徒、保護者、教職員の皆さんと共に検討してきました富士川中学校が、いよいよ開校します!

◇開校式

4月7日(月)

◇開校記念式典

5月21日(水)

※開校記念式典へご招待する方には、4月にご案内を発送予定です。

●お問い合わせ

教育総務課中学校統合準備室
☎22-7200

校章と校歌が決定!

新中学校開校検討委員会総務部会において、富士川中学校の校章、校歌について、検討を重ねた結果、次のとおり決定しましたので、ご紹介します。

校章

◇経緯

町内中学校生徒に校章デザインを募集したところ、86点が寄せられました。その中から、新中学校開校検討委員会総務部会で8点に絞り、小学5年生・中学3年生を対象にしたアンケートを実施し、上位4点に絞りました。その結果をもとに、新中学校開校検討委員会ですらに協議し、次のデザインに決定しました。



▲応募された校章デザイン

◇デザインの趣旨

【作成者】小池杏奈さん
(増穂中学校)

人の繋がりを輪で表現し、3本ラインで富士川の「川の流れ」を表現しました。その中に、町の花「桜」、町の木「柚子」、町の鳥「鳩」をシンブルにデザインしました。鳩の羽根には、「未来への飛躍」を、桜の中にデザインした星には「未来への希望」を表現しました。地域から愛される学校になってほしいという願いを込めました。英字を使用したのは、今の校章と全く違うデザインの方が、「新しく始まる」のにピッタリだという思いからです。



▲完成予定の校章のデザイン

校歌

●経緯

町内小中学校の児童生徒から、歌詞のフレーズを募集

し、198件が寄せられました。そのフレーズの二部を使い、作詞していただきました。メロディーは、誰もが歌える爽やかな曲となりました。

◇作詞作曲

作詞・作曲は、町の歌「明日を生きる」の作詞・作曲者である江宮隆之氏と池田綾子氏に依頼しました。

作詞・江宮隆之

町内在住。小説家、ノンフィクション作家。1989年、「経清記」で歴史文学賞受賞。1995年、陶芸評論家・浅川巧の生涯を描いた「白磁の人」で中村星湖文学賞受賞。史実に即した伝記的な歴史小説や、近現代の人物を題材にした小説、ノンフィクション作品を数多く手掛ける。

作曲・池田綾子

東京都出身のシンガーソングライター・作詞・作曲家。平成14年から音楽活動を開始。これまでに多くのテレビ・マーシャル・映画・アーティストの楽曲提供を行っている。

富士川中学校校歌 「友情は永遠に」

- 一、あかねさす朝焼けに染む 富士川の
水面をわたる 若風が
頬にやさしく 吹き抜ける
竹のささやき さやさやと
友情は交わす言葉で 通い合う
希望あふれる 学舎は
ああ わが母校 わが母校
永遠に 結びぬ
- 二、みどりなす若葉が萌える 櫛形の
懐にあり 富士川を
風が運んだ ひとひらの
雲仰ぎ見る 肩ならべ
友情は時に激しく 温かく
誉れも高き 学舎は
ああ わが母校 わが母校
永遠に 揺るがず
- 三、しろたえの芙蓉の高嶺 気高さを
遠くにのぞみ 富士川の
流れに映る 光り影
新樹に注ぐ 雨の如
友情は心豊かに 育まん
真理をめざす 学舎は
ああ わが母校 わが母校
永遠に 輝け